

ドイツ文学専攻 博士課程前期 科目表

科目コード	科目名	担当者	単位数	開講学期	登録方法	科目ナンバリング	備考
選択科目(指定科目A)							
J1162	ドイツ文学特殊研究 1A	坂本 貴志	2	春学期	科目コード登録	GRL5340	
J1163	ドイツ文学特殊研究 1B	坂本 貴志	2	秋学期	科目コード登録	GRL6340	
J1154	ドイツ文学特殊研究 2A	古矢 晋一	2	春学期	科目コード登録	GRL5340	
J1155	ドイツ文学特殊研究 2B	古矢 晋一	2	秋学期	科目コード登録	GRL6340	
J1176	ドイツ文学特殊研究 3A	吉田 治代	2	春学期	科目コード登録	GRL5340	
J1177	ドイツ文学特殊研究 3B	吉田 治代	2	秋学期	科目コード登録	GRL6340	
J1158	ドイツ文学特殊研究 4A		2	休講		GRL5340	
J1159	ドイツ文学特殊研究 4B		2	休講		GRL6340	
J1166	ドイツ文学特殊研究 5A		2	休講		GRL5340	
J1167	ドイツ文学特殊研究 5B		2	休講		GRL6340	
J1178	ドイツ文学特殊研究 6A		2	休講		GRL5340	
J1179	ドイツ文学特殊研究 6B		2	休講		GRL6340	
J1156	ドイツ文学特殊研究 7A		2	休講		GRL5340	
J1157	ドイツ文学特殊研究 7B		2	休講		GRL6340	
J1168	ドイツ文学特殊研究 8A		2	休講		GRL5342	
J1169	ドイツ文学特殊研究 8B	シュレンドルフ	2	秋学期	科目コード登録	GRL6342	
J1180	ドイツ文学特殊研究 9A		2	休講		GRL5340	
J1181	ドイツ文学特殊研究 9B		2	休講		GRL6340	
選択科目(指定科目B)							
J1170	ドイツ語学特殊研究 1A	井出 万秀	2	春学期	科目コード登録	GRL5440	
J1171	ドイツ語学特殊研究 1B	井出 万秀	2	秋学期	科目コード登録	GRL6440	
J1172	ドイツ語学特殊研究 2A		2	休講		GRL5440	
J1173	ドイツ語学特殊研究 2B		2	休講		GRL6440	
J1182	ドイツ語学特殊研究 3A		2	休講		GRL5440	
J1183	ドイツ語学特殊研究 3B		2	休講		GRL6440	
J1184	ドイツ語教育特殊研究 1A	シュレンドルフ	2	春学期	科目コード登録	GRL5840	
J1185	ドイツ語教育特殊研究 1B	シュレンドルフ	2	秋学期	科目コード登録	GRL6840	
J1186	ドイツ語教育特殊研究 2A		2	休講		GRL5840	
J1187	ドイツ語教育特殊研究 2B		2	休講		GRL6840	
J1174	ドイツ学特殊研究 A		2	休講		GRL5840	
J1175	ドイツ学特殊研究 B		2	休講		GRL6840	
J1188	ドイツ文化史特殊研究 A		2	休講		GRL5842	
J1189	ドイツ文化史特殊研究 B		2	休講		GRL6842	
次頁参照	修士論文 正指導教員一覧						

修士論文 指導教員

登録方法	その他登録
-------------	--------------

下表にて指導教員・登録コードを確認し、R Guide「その他登録一覧」にて定められた日程・手続きで届け出ること。
登録を許可された者は大学が登録するので、履修登録状況画面にて確認すること。

科目コード	教員名	研究指導領域	研究指導概要
J1801	井出 万秀	ドイツ語学, ドイツ語史, ドイツ語教育	言語学・ドイツ語学のメタ言語(専門用語)の意味と用法を理解した上で, メタ言語を用いて言語を分析し, 論じる力の習得をはかる。
J1802	吉田 治代	ドイツ思想, ドイツ文学, 文化論	近現代のドイツ思想, 文化論の分野で, 論述的なドイツ語を読む力を養う。様々な理論や分析の方法に関する知識を習得して自律的な研究能力を鍛えることを目指す。
J1804	坂本 貴志	ドイツ文学・思想, 比較文化	文献読解を基本として, 論を構築するすための指導を行う。その際, バロック期から19世紀にかけての日欧の思想・文化状況についての視点を交えて助言を行う。
	宮崎 麻子	ドイツ現代文学, 東ドイツ文化史, ジェンダー表象	近現代ドイツ語圏の文学・文化研究およびジェンダー論を中心として, テキスト分析を通して文化的テーマを論じるための討論, 文献紹介, 論文指導を行う。
J1806	古矢 晋一	ドイツ文化・ドイツ文学・メディア論	近現代ドイツ語圏の文学と思想ならびに文化史・メディア論の分野で, 研究に必要な語学力・論述力を養成し, 各自の研究テーマに即した論文指導を行う。

2026年度
春・秋学期
研究休暇